

# 自らを総点検し、再出発をします！

## ○佐藤みのる市議選から学ぶもの○

11月21日投票で行われた松戸市議選は、定員2人減の44人に対して、68人という大激戦となりました。私たち「市民自治をめざす1000人の会」が推した佐藤みのるさんは55位1,523票で、議席獲得には至りませんでした。

佐藤みのるさんに期待し応援を惜しまなかった市民の皆さん、佐藤みのるさんの取組に積極的に参加していただいた松戸市内外の皆さん、そしてなによりも、連日とってもハードな選挙活動に弱音を吐くことなく取り組んできた佐藤みのるさん一私たち「1000人の会」は深く感謝するとともに、こうした結果になつたことに対して衷心からお詫びいたします。

### ●私たち市民派の主張

私たちは、この選挙戦にあたり、訴えの中心に議会改革を置きました。市立病院問題をめぐって「住民投票によって決めてほしい」という31,997人が条例制定要求に署名しましたが、市議会はこの願いを一蹴しました。こんな市議会を変えなければならない、これが私たちの主張でした。

加えて、①子育てと介護、②公立病院の堅持と市民参加による病院建設、③地球に貢献できる環境対策を松戸から、を掲げました。これらは、いずれも現在の松戸市政の根幹に関わる重要な課題であり、これらの成否が今後の市政の姿を決めていくことでしょう。

にもかかわらず、私たちの主張は総花的、抽象的に過ぎたためか市民の皆さん理解にくかったのではないか、もっと選挙に特化した宣伝を展開すべきだったのではないか、といった反省が迫られています。

### ●魅力にあふれた佐藤みのるさん

私たちの擁した佐藤みのるさんは、その人柄といい、識見といい、自信をもって市民の皆さんに推薦できる人でした。市民との輪の広がりの中で、少年時代からの辛酸が現在の誠実さと優しさを培っていること。地

球環境問題についての群を抜く識見が「環境の佐藤」を作っていること、などなどが縁の出来た人びとを惹きつけ、しだいに「佐藤ファン」が生まれていきました。佐藤みのるさんはあと一歩のところまで近づいていました。

その無名の新人の前に立ちはだかる壁を突破できなかつたのは、「1000人の会」の力不足によるものです。

### ●自らを総点検します

私たち「1000人の会」は、今回惜敗しました。

この間12年間の活動が松戸の市民運動に大きな役割を自負するが故に、今後雪辱を期して奮闘します。そのため、私たちは「制度疲労していないか、どこをオーバーホールすべきか」の点検を自らに迫られています。

(文責 佐藤みのる選対会議)



## 松戸市議会議員選挙に挑戦して得たこと

### 佐藤みのる

私、「佐藤みのる」は、「市民自治をめざす1000人の会」の公認候補者として松戸市議会議員選挙に挑戦させていただきました。

選対関係者や多くの支持者・仲間の皆様から多大なご支援・ご指導をいただき選挙活動に取り組むことができました。本当にありがとうございました。

皆様のご支援により1,523票を獲得することができました。しながら候補者「佐藤みのる」の力量不足により、ご支援をいただきながらも皆様のご期待を裏切る、残念な結果を招いてしまったことを深く反省し、お詫び申し上げます。

この挑戦に向けて、関係者の皆様と話し合いながら、様々な取り組みをおこなってきました。国政・千葉県知事・地方の無所属・市民派候補者の選挙応援、そして自主講座「市民自治」へ

の参加、さらには関係者によるインタビュー方式で作成された「佐藤みのる物語」の発刊、気候変動防止法に向けて松戸市議会への陳情、議会傍聴、COP15に向けて松戸駅西口でのライブ＆トークイベントの開催、障害者計画・東葛市民の会への参加、市立病院移転建設問題をめぐる住民投票を実現するための署名活動、子育てアンケートから『子育て政策120の提言』など広範囲な市民活動に取り組んできました。

こうした取り組みにより、多くの皆様からの情報提供をいただき、連携・連帯することができました。

今回、厳しい結果を突きつけられ、敗北しましたが、多くの皆様との絆ができたことが、佐藤みのるの財産となりました。本当にありがとうございました。

## 沖縄の人々の鬭いが、仲井真知事の政策を変えた！

昨年11月28日の沖縄知事選の特徴は、「出口調査」で基地問題は、国外移転47・1%、県外移転24・1%と県民の意思は明確になりました。すでに基地が返還された「那覇新都心」や「北谷町」では、経済効果は数百億円、雇用は数千人規模で商業も発展しています。

政策転換の大きな要因は、95年の10万人県民集会、辺野古新基地建設反対運動、名護市長選と市議選での新基地反対の市長と議会を選出してきたこと、昨年7月の県議会で「日米共同声明の見直し」を全会一致で可決するなどの経過がありました。

菅政権は、沖縄県民の意思を尊重し、日米共同声明の見直し交渉を進めるべきです。

(常盤平在住 湯村悦朋)

## 旧新松戸北小・北中跡地の有効活用は？

昨年2月にスタートしました「学校跡地有効活用検討委員会」がこれまでに5回開催され、今年3月には答申を市長に提出します。

千葉大園芸学部の田代教授を委員長に12人の委員が現地を視察し、松戸市全体の視点からの有効活用について話し合っています。住民の要望を聞き、将来像を描きながら、防災や子育て、高齢者、住民の交流等複合施設が検討されています。検討委員会の中には、地域代表も4人入っており、バランスのよい会議になっています。

1月30日（日）午後1時から、新松戸市民センターホールで「学校跡地有効活用に関する市民フォーラム」が開催されます。住民からの提案をしましょう。ご参加ください。

(新松戸在住 今川和子)